

『化学熱力学』正誤表

訂正箇所	誤	正
【1章】 9頁 9行目	次ぎの	次の
【2章】 23頁下6行目 24頁 2行目 29頁下から5行目 36頁 16行目 41頁下から5行目 42頁 16行目	$C_{v,m}$ の間には次の α と κ は とうこと を指す. 仮想的理想気体1モル→実在気体1モル だい3項	$C_{v,m}$ の間には、 <u>等方的な物質の場合</u> 、 次の κ は ということ を指す <u>ことがある</u> . 圧力1barの仮想的理想気体1モル→ 圧力1barの実在気体1モル 第3項
【3章】 59頁 12行目 59頁 18行目 60頁 4行目 60頁 5行目 60頁 9行目 60頁 11行目 60頁 8行目 60頁下から3行目	$\text{NiO}(s, T, p) + \text{H}_2(g, T, p)$ → $\text{Ni}(s, T, p) + \text{H}_2\text{O}(g, T, p)$ $\text{H}_2(g, p)$ $S_m^\tau(\text{NiO})$ $S_m^0(\text{H}_2)$ $S_m^0(\text{Ni})$ $S_m^0(\text{H}_2\text{O})$ $[S_\tau(\text{Ni}) + S_m^\tau(\text{H}_2\text{O})] - [S_\tau(\text{NiO}) + S_m^\tau(\text{H}_2)]$ $\Delta_r S = [S_\tau(\text{Ni}) + S_\tau(\text{H}_2\text{O})]$ - $[S_\tau(\text{NiO}) + S_\tau(\text{H}_2)]$	$\text{NiO}(s, T, p) + \text{H}_2$ (実在気体, T, p) → $\text{Ni}(s, T, p) + \text{H}_2\text{O}$ (実在気体, T, p) H_2 (実在気体, p) <削除> <削除> <削除> <削除> $\Delta_r S = [S_m^\tau(\text{Ni}) + S_m^\tau(\text{H}_2\text{O})]$ - $[S_m^\tau(\text{NiO}) + S_m^\tau(\text{H}_2\text{O})]$
【4章】 70頁下7行目 72頁 14行目 80頁下から6行目 80頁下から4行目 80頁下から2行目 81頁 1行目 82頁 4行目 88頁下から10行目 90頁 10行目 92頁下から8行目 92頁下から7行目 92頁下から6行目 92頁下から5行目	低温 <u>低</u> 圧 <u>元素物質が基準状態にある場合には</u> 式(18) L L L [問題5] 式(63) $dA_1 = dW_{\text{rev}}$ _____ _____ _____	低温 <u>定</u> 圧 <削除> 式(16) L L L [問題4] 式(64) $dA_1 = \delta W_{\text{rev}} = dW_{\text{rev}}$ 式に番号(87)を付ける 式に番号(88)を付ける 式に番号(89)を付ける 式に番号(90)を付ける
【5章】 102頁下から1行目 107頁 14行目	相I相II 式(14)に <u>に</u> 代入	相I <u>と</u> 相II 式(14)に代入

『化学熱力学』正誤表

訂正箇所	誤	正
【6章】 120頁下から4行目	ΔH	ΔH_A
【7章】 124頁 4行目 151頁 2行目 151頁 8行目	4章の式(16)であるから <u>純物質凝縮相</u> <u>溶体成分</u>	4章の式(87)~(90)であるから <削除> <削除>
【8章】 173頁下から9行目 175頁下から1行目 176頁 2行目 177頁 15行目 177頁下から7行目 178頁下から5行目 178頁下から1行目 179頁 2行目 180頁 1行目 180頁 3行目 181頁下から6行目 181頁下から1行目 195頁下から3行目 197頁下から10行目 197頁下から11行目 197頁下から8行目 199頁表下から2行目 200頁下から4行目	詳細は4章4節, 5節および6節の1.3 を参照せよ. $\mu_i = \mu^i(T) + RT \ln(c_i/c)$ $\mu_B(T, p)$ 2.2.6 $\mu_B(T, p, \%)$ 炭素 <u>に</u> 変換に必要	<削除> $\mu_i(T, p) = \mu^i(T, c) + RT \ln(c_i/c)$ $b \mu_B(T, p)$ 1.3 標準生成ギブズエネルギーは熱化学 データ集に記載されている. C (黒鉛, 1 bar) → $[\text{C}]$ (1%標準状態, 1 bar)
【10章】 210頁図の縦軸		標準ギブズエネルギー変化 $\Delta G(61)$ は、 熱化学データ集に記載されている $\Delta_r G(\text{CO}_2)$ と $\Delta_r G(\text{CO})$ を用いて計算 で求めることができる. C (黒鉛, 1 bar) → C (1%標準状態, 1 bar)